

# — 2022 年全国業者婦人の実態調査 —

## アンケート記入をすすめるために（話し合い資料）

2022 年 5 月 10 日

全商連婦人部協議会

民商婦人部 役員・事務局の皆さんへ

### ◆ **役員会で話し合って、記入を呼び掛けるために**

役員会では、調査を書き込む小集会の取り組みや、記入を呼び掛ける訪問・対話をどうすすめるか、相談しましょう。

調査対象は、婦人部員と入部対象者とします。婦人部活動が活発になり、仲間づくりにつながることをめざします。

話し合いには、次の3つの文書を活用してください。文書は、常任幹事のみなさんには郵送で、県婦協あてにはメールで送っています。【4/19 に別途発送しています】

- 第5回常任幹事会決議
- 2022年「全国業者婦人の実態調査」運動について
- 2022年 全国業者婦人の実態調査 調査目標数

### ◆ **お互いの状況や運動の意義を深めるために**

実態調査の記入を通じて、仲間の置かれた状況をお互いに知り、婦人部の活動と仲間づくりがなぜ必要か、理解を深める機会にしていきましょう。各質問がなぜ設けられているのか、深めてもらいたい問題を投げ掛けて、話し合いを促すことが大切です。

実態調査の【1】～【4】について「設問目的と討論ポイント」(例)を紹介します。

また、業者婦人の「暮らしと営業」の状況はさまざまです。質問によっては、どう回答したらよいか、迷うことも予想されます。「どう書いたらいいの?」と聞かれた際は、別紙「記入項目の説明例」も参考にして、記入の考え方を伝えてください。

#### **【1】あなた自身のこと**

記入されるご本人の年齢、家業の業種・業態、働き方など調査の基本項目になるところです。世代ごとの特徴にも注目したいと考えます。

「健康・医療」については、健康悪化が家業に直接影響することを浮き彫りにします。営業が悪化すると暮らしに大きな影響を及ぼし、健康が損なわれれば営業にもダメージを与えている実態を、明らかにします。

「社会保障制度」に関わっては、切実な困難が背景にあることが多い設問です。愚痴や悩みも、率直に出し合えるようにしましょう。

例えば、14-③「国保料(税)の支払いは」「①払っている」との回答でも「8-② 病院に行けなかった理由」「14-② 保険証の種類」で困難が示されている場合などは、安心して相談してもらえるようにしましょう。

## 【2】あなたの家業の状況

家業の状況を具体的に明らかにするための設問です。

「家業以外に、パート・アルバイトやその他の副業で家計を補っている」ということもあるでしょう。その場合は、家計を支える主要な事業の内容について、回答してもらうようにし、日々の振り返りにもつなげてみましょう。

「売上・利益などが分からない」という人も、そのままにせず、家族が協力するために、認識を共有する大切さに理解を深められるようにしましょう。

家業や家計を圧迫しているものは何か、話し合ってみましょう。

「新型コロナに関すること」は、コロナ禍の実態と、危機を生き抜くための要求を明らかにするための項目です。コロナ禍とは、感染が拡大した 2020 年 1 月から現在までの医療体制、政治・経済状況などによる、さまざまな影響のことを指します。

「消費税のこと」は、消費税減税、インボイス制度中止にむけた実態を告発するものです。商売や生活への影響を具体的に出し合って、運動の意義を深めましょう。

## 【3】家族のこと・暮らしについて

子どものことでは、コロナ禍の学校環境、学力や友だち関係の心配、マスク生活の長期化が与える影響、子どもたちの進路・進学の変更、学校関係の支払いの遅れ、などがあるのではないのでしょうか。「暮らし」の面からも、施策の必要性を具体的に浮き彫りにしていきます。

47「生活での困り事は」で心配事を上げている人には、「頼れる相談先がありますか？」と声を掛けましょう。

49「コロナ感染拡大に伴う、子育てや介護の心配事」の欄は、自由にご記入ください。

## 【4】家業のやりがい・課題について

話し合っこそ記入が進む項目です。話し合いのポイントとしては、「自営業・小規模事業者が、地域で果たす役割を見直す」、「家業のやりがいをお互いに出し合っ、業者婦人の存在意義を深める」などがあります。話し合いの機会となるよう、積極的に回答してもらいましょう。

53「今後、参加したい学習会・交流会」を今後の婦人部活動に生かしましょう。

### ◆ 記入にあたって

①アンケート用紙 1 ページ目、＜記入上の注意＞を、ご覧ください。

②県の番号は、「2022 年全国業者婦人の実態調査 調査目標数」の一覧表の「県番」です。例えば、北海道→01、沖縄→47 となります。

③設問が該当しない場合は、回答欄は空白のままにしておいてください。

④アンケート用紙最後のページ、「行政への要望などご自由にお書きください」欄の活用について。「回答で『その他』を選び、その理由を詳しく記入したい」「回答欄が 3 つでは足りない」という場合も、お使いください。行政への要望だけでなく構いません。

別紙 <記入項目の説明例>

B「あなたの家業の業種」 この調査では「家業」については、「記入者本人と家族が、一家の生計を立てるために営む主要な事業」と、定義しています。

E「家業に従事している人数」 事業主も含む人数です。夫が事業主で本人も従事する場合は2人となります。

F「フリーランスですか」 記入者本人がフリーランスかどうかを、答えてもらいます。アンケート用紙の（※）フリーランスとは・・・を参考にしてください。

3と4「家業で働いた分の報酬」 所得税法第 56 条による不利益実態を告発するものです。

8-②「病院に行けなかったこと」の理由 「⑤その他」を選び、具体的な理由がある場合は、( )内に記入してください。

14 - ①「医療保険の種類は」のうち、「②組回国保など」は、建設国保や料飲国保など、同業の自営業者などで組織・運営するものを指しています。

19「産前・産後休暇について」 国保に出産手当がないこととの関連をみるものです。

20と23「2021年の売上」「利益」 調査時点(22年6～7月)の状況を、2019年以前と比較してください。

21「仕入れ・経費は」 賃加工・派遣業など仕入れがない場合、経費一般について教えてください。

22「営業所得」 2021年の所得を記入してください。なお、「所得にはコロナ関連の給付金・協力金は含まない」でください。経年変化を比較するためです。

26「世帯全体の所得は」 家業の収入に加えて、本人や同居家族の副収入や受取年金など、世帯収入すべてを対象にします。

36「消費税についてひとこと」欄は、自由記入です。「あなたやあなたの周りで起きている、消費税に関する問題、消費税そのものに対する意見」を記入してください。